

衛星写真と地図帳の違いは？

千葉県成田市立成田小学校 横山 昌彦

1 はじめに

初めて地図帳を手にした子どもたちが、地図から実際の地形をとらえるのは難しい。そこで、その感覚を身につけるために地図帳と衛星写真を比べながら地図帳での高低差の表し方を理解させ、千葉県の土地のようすを調べてみることにした。

2 「地図と衛星写真を比べよう」

「Google Earth」をご存じだろうか？ インターネットで好きなところの衛星写真を好きな大きさに簡単に見ることができる。地図帳と比較することにより、土地利用のようすや高低差をイメージしやすくなる。

右のような衛星写真をコンピュータを使って児童に見せた。「これはどこの写真かわかりますか。」「成田空港が写っているよ。」「学校はこの辺りだ。」子どもたちはすぐに興味を持って気づいたことを話し出す。そこで衛星写真をズームアウトして千葉県の全体の様子がわかる大きさにする。「おおーっ！」「千葉県だ！」「地図と同じ形だあ」など、児童はあまり見ることはない写真に興味を示す。児童が盛り上がってきたところで「この写真と地図帳のp.36と比べてみよう。」「写真で見ると意外に山みたいところが多いなあ。」「家が集まっているところは地図帳では黄色になってるよ。」「千葉県の北の方は黄緑色が多いけど、南はクリーム色が多



いよ。何か違うのかな？」「それでは北と南ではどのように違うのか写真と比較してみよう。まず地図帳を見て南の方のようすを想像してみようか。」「山のような感じがするなあ。」「前に行ったとき



帝国書院「小学生の地図帳」（初訂版）p.36

大きな牧場があったよ。」「花の絵が描いてあるよ…」等々。意見が出たところで写真を見せ南部は山のように見えるが「丘陵」といって台地になっていること、地図帳では高さの表し方を色で区別していることを指導した。児童は「千葉県は南の方が丘陵になっているんだね」「土地の高いところや低いところも地図帳を見ればわかるんだなあ」「地図帳では、北の方には野菜の絵が多いのに南にはない。地形の違いと関係があるのかなあ。」など地図の見方を覚え、多面的に事象を捉えるようになってきた。



3 おわりに

児童は、授業をした後の感想で「今までとは違った感じで地図を見ることができておもしろかった。」「地図を見ながらいろいろ想像するのがおもしろかった。」等の感想があった。地図に親しみ、地図を見ながらその土地のようすを想像し、「ここに行ってみたいなあ、どんなところだろう？どんな産業が盛んなのかなあ？どんな暮らしをしているのかなあ？」と、地図帳からいろいろな思いをはせながら、社会科の好きな子が増えたら、何てすてきなことだろう。